

宮崎大学インフラ長寿命化 (行動計画・個別施設計画)

«概要版»



2019年3月策定
2021年3月改定

宮崎大学施設環境部

1、インフラ長寿命化計画の背景・目的

戦略的かつ機能的な大学運営を行うためには、高度・多様化する教育研究医療活動や新たな教育研究医療活動に展開できる質の高い教育研究医療環境を整備することが求められる。施設整備費を巡る財政状況が厳しい中、施設整備を「財政的に持続可能な範囲」で実現するためには、従来と同じ手法による整備を見直し、経費抑制と平準化に取り組む必要がある。

インフラ長寿命化計画は、インフラの維持管理等に係るトータルコストの縮減を図り、必要な予算の確保を進めていくため、中長期的な将来の見通しを把握し、これをひとつの目安として戦略を立案し、必要な取り組みを進めていくことに資することを目的としている。

2、計画期間・対象施設

○計画期間：40年（2018年～2057年）

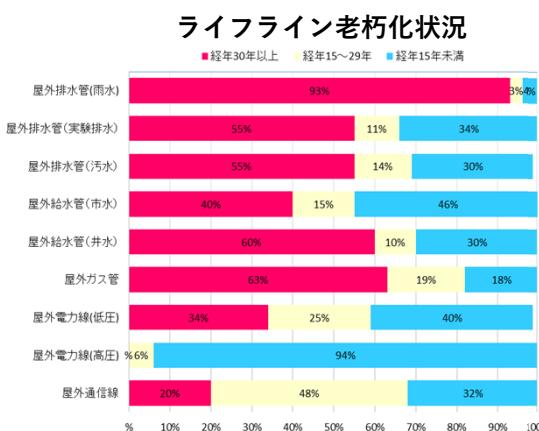
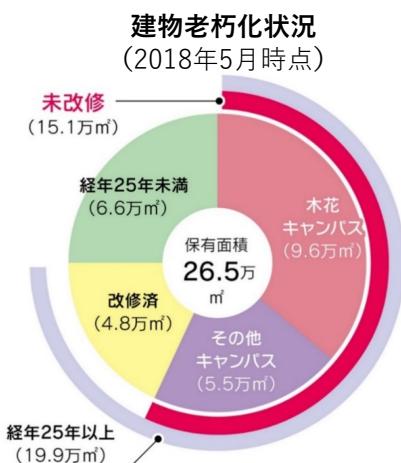
○対象施設：全ての施設（ただし、借用建物は除く）

3、本学の現状と課題

○耐震対策はほぼ完了したものの、昭和59年から昭和63年にかけて整備された膨大な施設の更新時期が到来しており、安全面・機能面・経営面で大きな課題が生じ、対応が急務

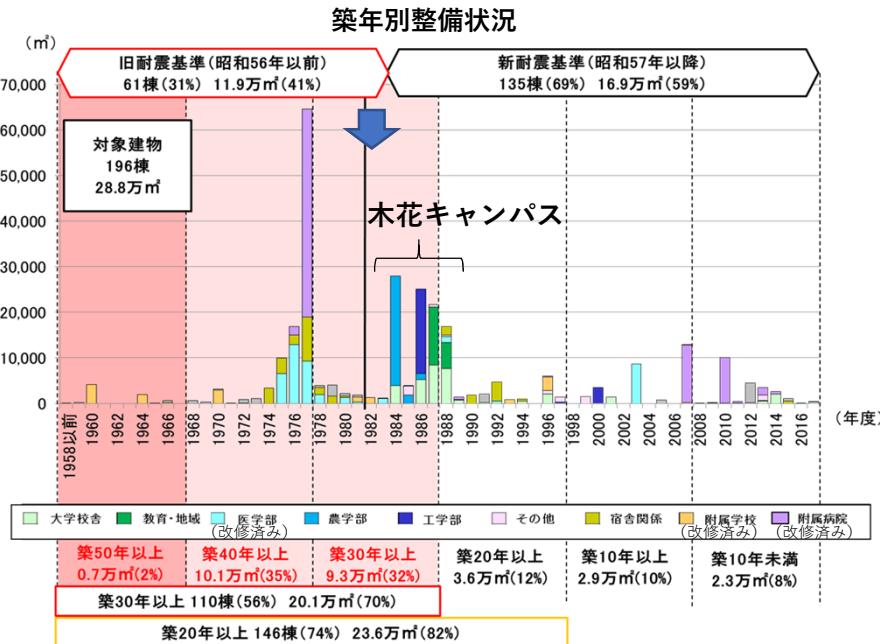
○経年25年以上の改修を要する施設の面積は全体の約75%であり、今後5年で経年25年以上の改修を要する施設の面積が現在より倍増

○基幹設備（ライフライン）の老朽化も進行し、耐用年数を超えたものの割合が高く、特に教育研究に影響を及ぼすガス配管や排水管の老朽化が50%超



○4つの主要キャンパス（木花、清武、花殿、船塚）のうち、木花キャンパスは昭和59年から63年に移転整備が行われ、経年30年以上の建物が集中

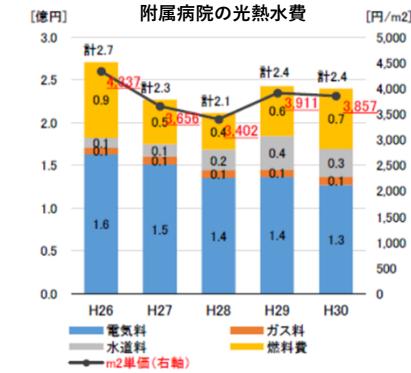
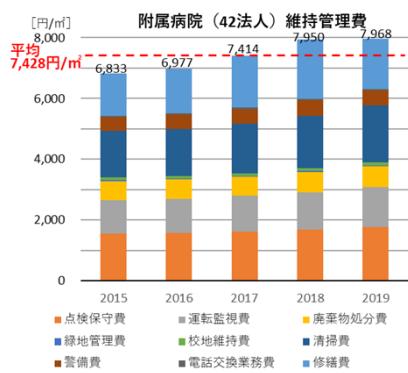
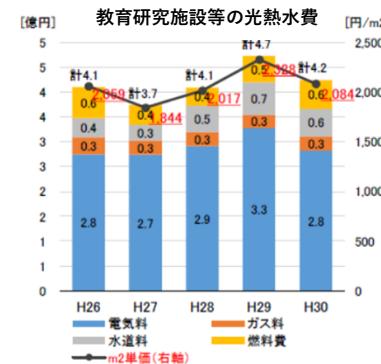
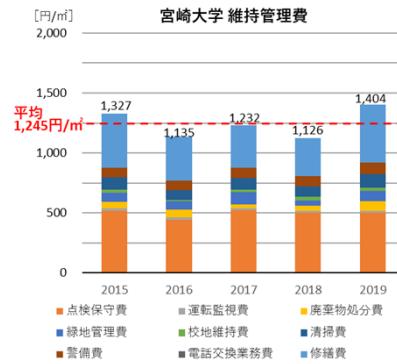
○清武・花殿・船塚キャンパスは、改修が順次完了



4、保有面積と維持管理費等の現状

保有面積と維持管理費等推移

- 建物の老朽化が進む一方で必要な維持管理費の確保が課題となっている。
- 機能が著しく低下し問題が起きてからの対応となっており、結果、事後保全となっている
- 光熱水費は一時期、増加傾向にあったが、省エネ改修等の推進により増加傾向が抑えられてきた



5、長寿命型ライフサイクルへの転換

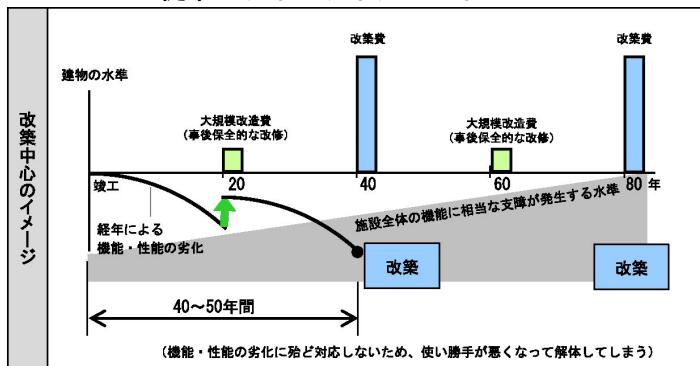
- 膨大な施設の効果的かつ効率的な施設整備・維持管理のため、従来のライフサイクルから長寿命化型ライフサイクルへの転換により、既存施設を最大限活用する

- ・従来の改築を中心に計画する事後保全型の改修から長寿命化を図る予防保全型の改修へ転換
・予防保全により施設の長寿命化を推進した上で、財政負担の縮減・平準化に取組む

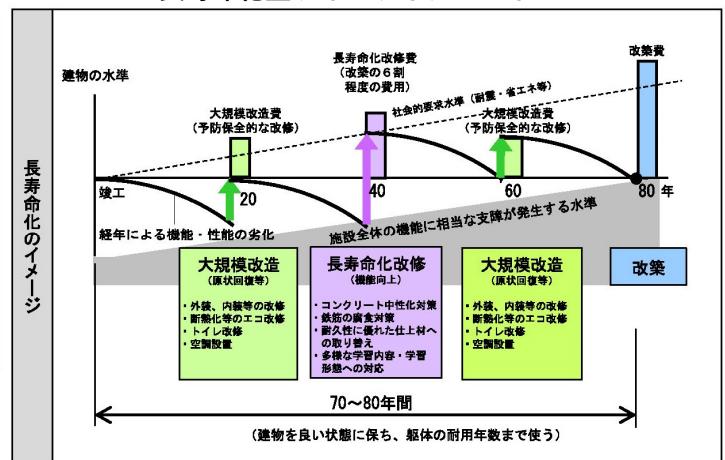
○長寿命化型ライフサイクルの考え方

- ・長寿命化を図る施設の耐用年数は80年を目標とする
- ・経年20年・60年に大規模改修（機能回復）、経年40年に長寿命型改修（機能向上）を実施

従来のライフサイクルのイメージ



長寿命化型ライフサイクルのイメージ



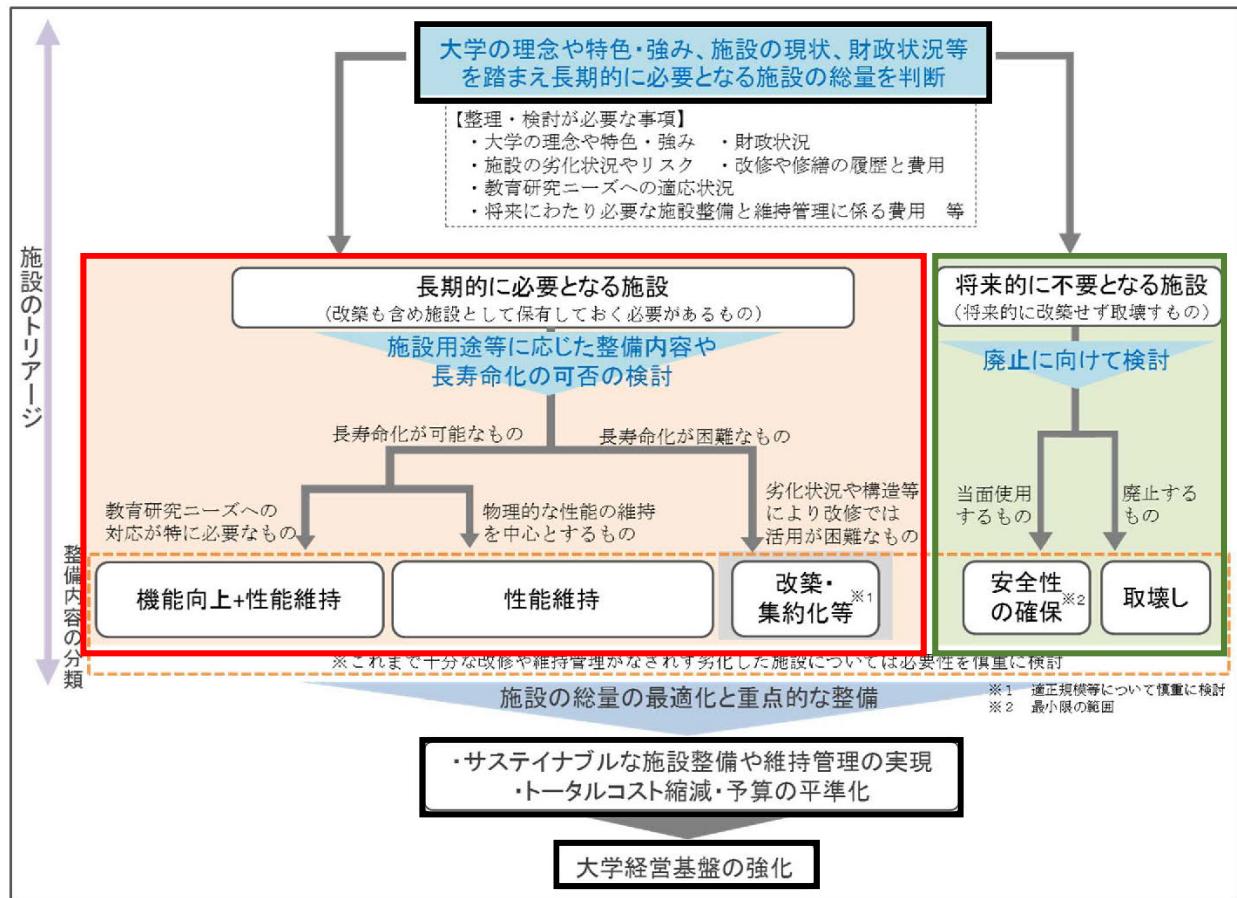
6、施設の総量の最適化と重点的な整備

○施設に係る支出（新增築、改修費、維持管理費及び光熱水費）は大学の支出全体の約16%を占めており、財務経営に与える影響は少なくない

○すべての施設を整備し運営するだけの財政基盤を確保するのは難しく、「施設等の優先度」を検討する

○長期的に必要となる施設を判断し、将来の財政状況等を見据え「重点的な整備」を行い、施設の役割を将来に渡り持続的に発揮させることで、教育機能強化を図る

施設の総量の最適化と重点的な整備



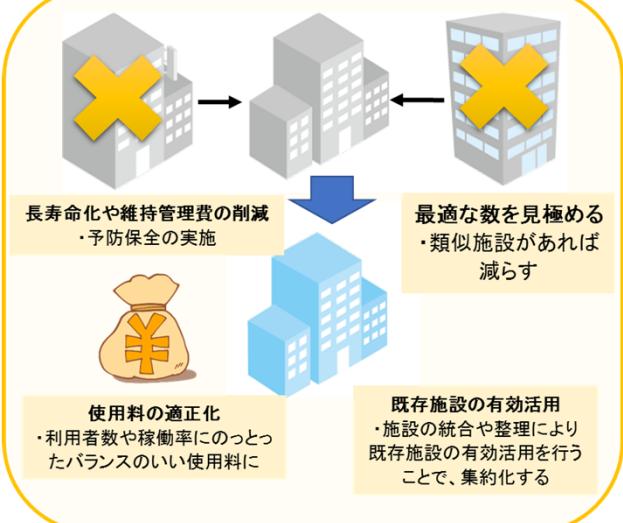
改築・集約化のイメージ図

○改修は教育研究ニーズを踏まえながら対応していくことが重要



○老朽化した膨大な施設を維持していくためには、施設整備の必要性や効果等について十分検討しメリハリを付け効果的・効率的に改修を行う

○長期的に必要となる施設の総量を判断し、将来の財政状況等を見据えた「建築物総量の管理」が重要



7、長寿命化計画対象施設の考え方

長寿命化を行う対象施設

- ・教育研究施設（全152棟中、対象施設 87棟）
- ・附属病院・附属動物病院（全20棟中、対象施設 16棟）
- ・寄宿舎・職員宿舎（対象施設 19棟）
- ・基幹設備（ライフライン）
- ・200m²以下の小規模建物：事後保全のみ実施、大規模建物へ機能集約・取り壊し検討
- ・対象外：借用建物

改修を行う優先順位の考え方

○施設を良好な状態を保つためには予防保全を行うことが重要

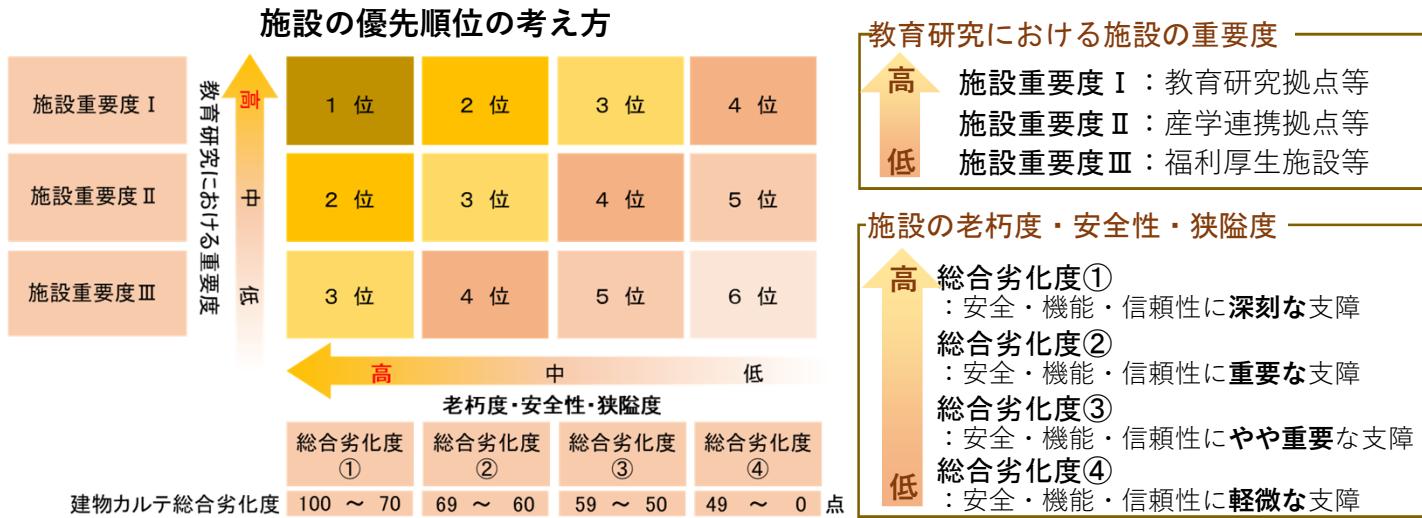
○全て一律に予防保全を行うと改修に要するコストが増大する

➡ 施設の優先順位を付けて長寿命化を行う対象施設を分類

1) 教育研究施設

- ・教育研究における施設の重要度および施設の老朽度・安全性・狭隘度より優先順位を設定

$$\text{施設の優先順位} = \text{教育研究における施設の重要度} + \text{施設の老朽度・安全性・狭隘度}$$



2) 附属病院・附属動物病院および寄宿舎・職員宿舎

- ・附属病院・附属動物病院：施設の老朽度・安全性・狭隘度より優先順位を設定
- ・寄宿舎・職員宿舎：2019年2月策定「宮崎大学職員宿舎再編計画」において9棟の解体を計画
使用を継続する宿舎は、施設の老朽度・安全性・狭隘度より優先順位を設定

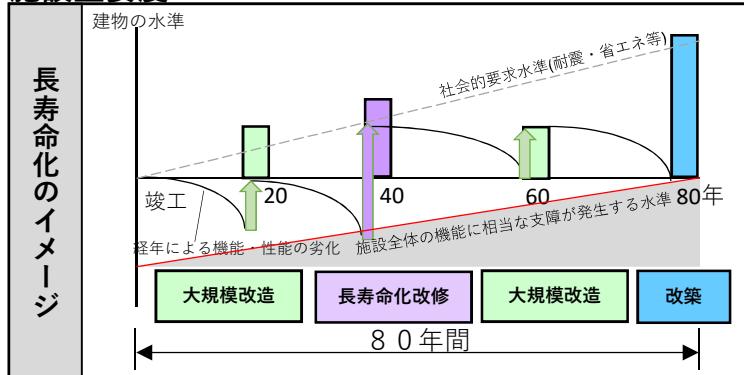
施設の重要度による改修内容の設定

○施設改修には膨大な費用が必要であり、全施設において同程度の長寿命化を図るのは現実的ではない

○施設の重要度により差を付けて改修内容を変更し、**改修費用の選択と集中**を進める

1) 教育研究施設

施設重要度 I



(改修の程度)

長寿命化改修

- ・外壁、屋上防水、内装等の全面改修
- ・多様な学習内容・学習形態への対応
- ・先端医療・地域医療を支える病院機能の充実

機能維持改修

- ・屋上防水・外壁の全面改修
- ・照明・電力・通信・換気設備の更新
- ・空調の更新
- ・外部建具・内装の機能回復
(全体の20%程度を想定)
- ・給排水・衛生・ガス設備の機能回復
(全体の20%程度を想定)

大規模改修

- ・屋上防水・外壁の全面改修
- ・電力・通信機器の更新
- ・空調・換気設備の更新
- ・ライフライン改修
(省エネ改修)

中規模改修

- ・屋上防水の全面改修
- ・外壁の機能回復
(全体の20%程度を想定)
- ・宿舎の設備更新・機能回復

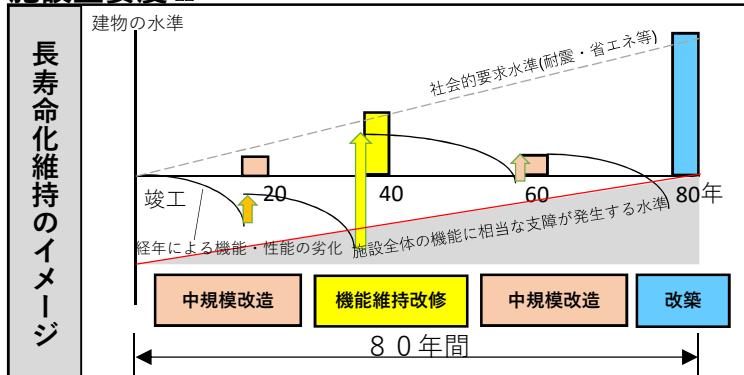
改築

- ・計画期間経過後に新改築を検討

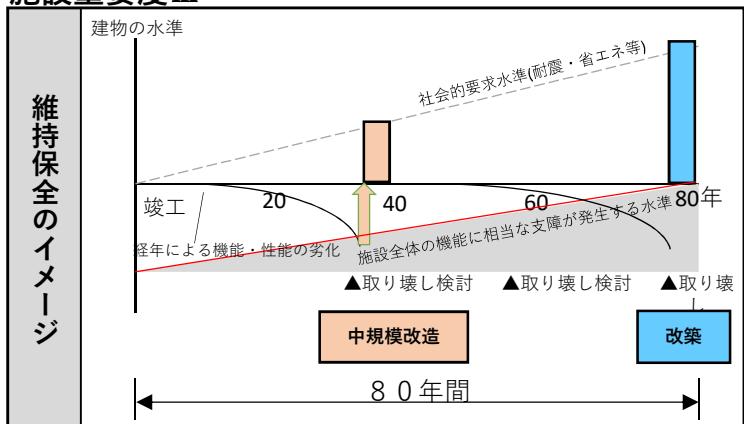
取り壊し

- ・計画期間(80年)経過後に大規模建物へ機能を集約した上で、建物の取り壊しを検討

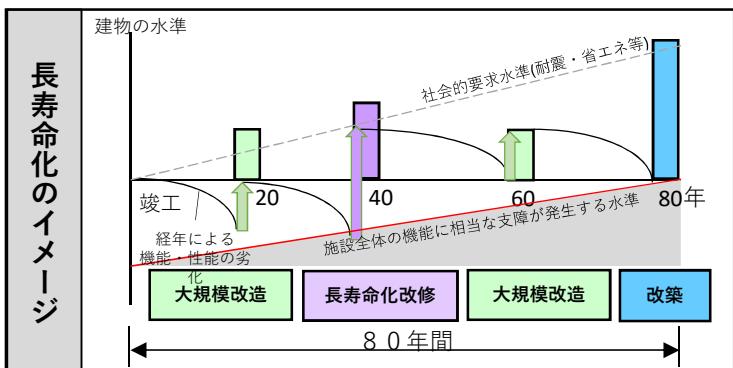
施設重要度 II



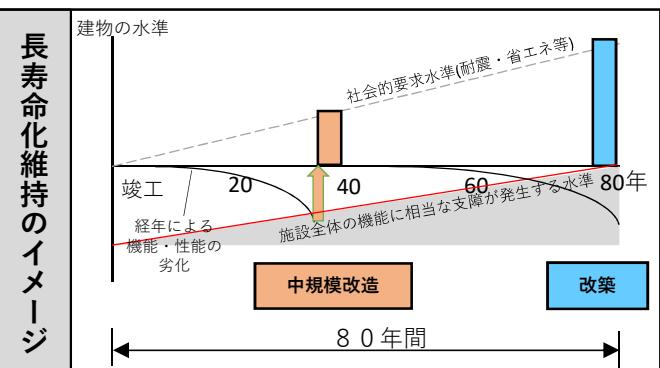
施設重要度 III



2) 附属病院・附属動物病院



3) 寄宿舎・職員宿舎



8、長期的な長寿命化改修実施計画の策定

改修に要するコスト

○目標耐用年数（80年間）における保有施設の改修に要するコストを算出し、年度毎に必要な改修費用を試算

○試算の結果、**教育研究施設**：**補助金 9.2億円/年** **自己資金 2.6億円/年** **計 11.8億円/年**が必要

附属病院：**補助金 1.0億円/年** **自己資金9.9億円/年** **計 10.9億円/年**が必要

寄宿舎・職員宿舎：**自己資金 0.7億円/年**が必要

○財源区分（対象予算）

		補助金	自己資金	※病院は1割を補助金
経年	20年	40年	60年	80年
施設重要度Ⅰ	大規模改造	長寿命化改修	大規模改造	改築
施設重要度Ⅱ	中規模改造	機能維持改修	中規模改造	改築
施設重要度Ⅲ	－	中規模改造	－	改築
ライフライン	基幹整備			
	省エネ改修			
病院・動物病院	大規模改造	長寿命化改修	大規模改造	改築
寄宿舎・職員宿舎	－	機能維持改修	－	改築
小規模建物	事後保全			取り壊し
維持管理	保有施設の維持管理			

長寿命化改修実施計画の策定

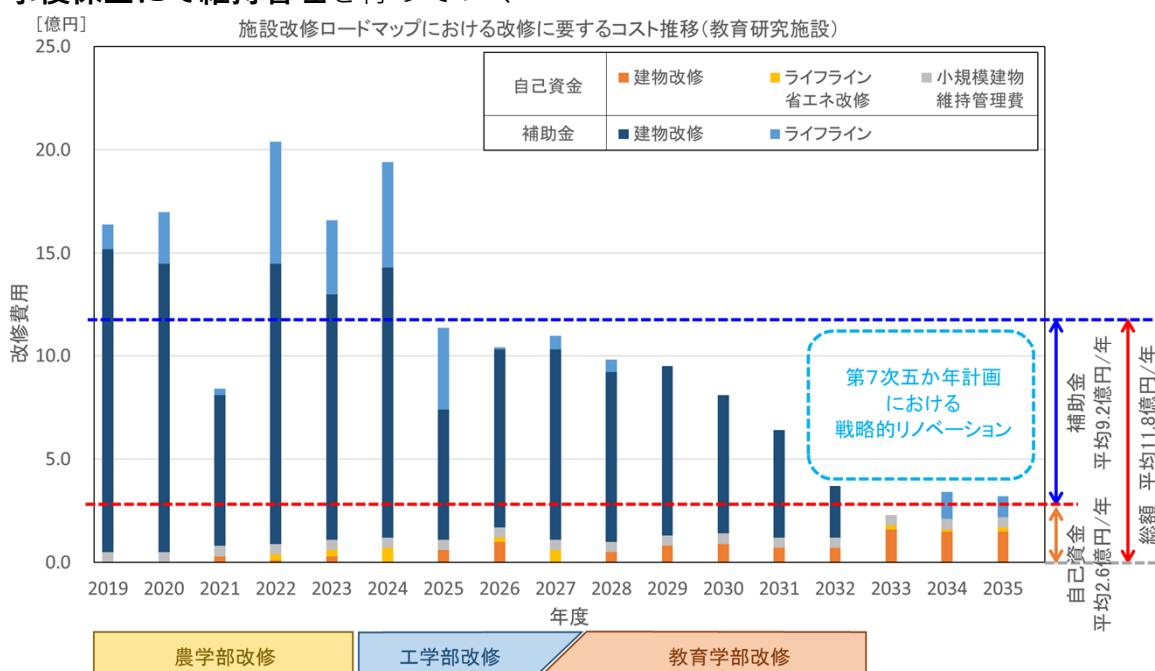
○長寿命化計画対象施設について、改修実施の優先順位を付けリスト化

○年度ごとに必要な費用を平準化し、長寿命化実施計画として**「施設改修ロードマップ」**を作成

○**附属病院**は、再整備30～40年後となる**2035年度以降に再々整備を検討**

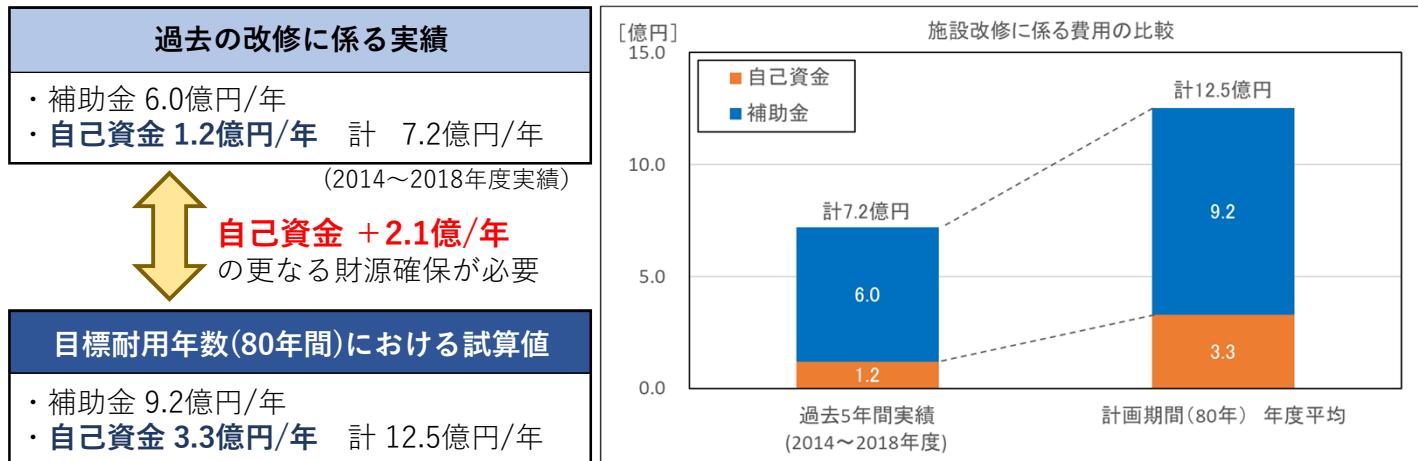
○職員宿舎を再編し**職員宿舎9棟を解体予定（保有面積82%（13,319m²）縮減）** ≪施設トリアージ≫

○**寄宿舎・職員宿舎**は、多様な財源での整備計画を検討。計画を導入するまでは、**入退居時の修繕および事後保全にて維持管理**を行っていく



9、財源確保策について

改修に要するコストとこれまでの改修実績との比較（教育研究施設・宿舎）



財源確保策の検討

- 更なる財源を確保するため、施設マネジメントを推進し、収入の確保および維持管理費の削減を図る

スペースチャージ制の導入

- ・木花キャンパスの戦略的リノベーション計画により**共同利用スペース**を創出
- ・共同利用スペースには令和2年4月より**スペチャージ制**を運用開始
- ・チャージ料の一部を改修費用に充当

財産の有効活用

- ・**駐車場の入構整理料の収入**を駐車場および構内道路の整備・補修費用に充当
- ・**土地等の貸付**を推進し、収益の増加を図る
- ・**ネーミングライツ事業**の導入

エネルギー・マネジメント

- ・エネルギー・マネジメントを進め、**消費エネルギー**を削減
- ・サスティナブル・キャンパスの形成に向けて、**ZEB化**を検討（「**ZEB Ready**」を目指す）

10、長寿命化計画の継続的運用方針

個別施設計画のフォローアップ

- インフラ長寿命化計画（個別施設計画）は、中期目標・中期計画に合わせ**6年を1期**とし、**1期ごとに**フォローアップを行う

- フォローアップの評価結果については、会議等において学内への公表を積極的に行う

- 個別施設計画の更新イメージ



施設改修 ロードマップ（教育研究施設）

対象：87棟
※附属病院・動物病院・宿舎・借用建物および200m以下の小規模建物は除く

凡例： : 20・60年目 大・中規模改修 : 40年目 長寿命化
[外] : 外部改修 [全] : 全面改修 [内] : 内部改修
全額 : 捕助金事業 全額 : 自己資金事業

	更新：令和6年3月（R5年度末）					
■	(単価の考え方)					
■	長寿命化改修(実験系) 23.0万/m ²					
■	長寿命化改修(非実験系) 21.4万/m ²					
■	大規模改修 5.0万/m ²					
■	機能維持改修 8.0万/m ²					
■	規格改修 1.0万/m ²					
■	(金額根拠)					
■	[億円]					
■	第7次5ヵ年計画					
■	032	2033	2034	2035		
■	14	R15	R16	R17		

PO標籤兩步驟 (非重上)

入構整理料にて順次補修

計 170 億円

施設改修 ロードマップ (教育研究施設)

対象: 87棟
※附属病院・動物病院・宿舎・借用建物および200m²以下の小規模建物は除く

凡例:  : 20・60年目大・中規模改修
 : 40年目 長寿命化・機能維持改修
 : 基幹設備・照明改修
 : 外部改修
[全] : 全面改修
[内] : 内部改修
金額 : 補助金事業
金額 : 自己資金事業

更新: 令和6年3月 (R5年度末)
(単価の考え方)
長寿命化改修(実験系) 23.0万/m²
長寿命化改修(非実験系) 21.4万/m²
大規模改修 5.0万/m²
機能維持改修 8.0万/m²
中規模改修 1.0万/m²
(金額根拠)

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	柱年(建築年) (工事・着工予定期間) [[x]終年(工事年) (2023時点)]	第5次5ヶ年計画							第6次5ヶ年計画							第7次5ヶ年計画						
						2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17				
医学部		講義実習棟	I	6.582m ²	00(1975) [全]00(1996)																					
		体育館	III	1,148m ²	00(1976) [外]00(2020)																					
		武道場	III	1,320m ²	00(1981)																					
		図書館	I	1,908m ²	41(1978)	1.6																				
		総合教育研究棟	I	8,581m ²	21(2003)	0.1	0.1																			
		基礎臨床研究棟	I	8,938m ²	57(1976) [全]10(2013)																					
		臨床研究棟	I	7,481m ²	37(1977) [全]9(2014)																					
		フロンティア(生物資源分野)	II	960m ²	47(1988) [全]21(2002)																					
		フロンティア(生物資源分野)	II	1,092m ²	50(1980) [全]21(2002)																					
		フロンティア(RI清武分室)	II	1,783m ²	47(1983) [全]21(2002)																					
		フロンティア(生物資源分野)	II	570m ²	53(1977) [全]21(2002)																					
清武		外来管理棟	II	1,297m ²	38(1992) [外]15(2008)																					
		福利施設	II	2,038m ²	00(2013)																					
		発電機室	I	49m ²																						
		(清武)基幹整備(講義実習棟 講義室空調設備)			25(1996)																					
		(清武)基幹整備(給水設備)			30~	0.3																				
		(清武)ライライ再生(屋外通信 線路等)			30~		0.2	0.5																		
		(清武)ライライ再生(屋外低圧 配電線路等)			13~ (電波法改正による) 30~31		1.0																			
		(清武)電話交換機更新			15~																					
省工改修 (LED化)		(清武)基幹整備(高圧配電盤 等)改修(総研・フロンティア)																								
		(清武)基幹整備(電力貯蔵設 備)改修																								
		(清武)基幹整備(昇降機設備)																								
構内舗装		車道 駐車場		18,725m ² 69,255m ²																						

補助金	建物改修	1.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	ライフライン	0.0	0.0	0.3	1.2	0.5	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	1.0				
補助金 計	1.7	0.1	0.3	1.2	0.5	0.3	0.3	0.0	0.7	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2	0.7	3.0							
自己資金	建物改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ライフライン 省工改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自己資金 計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
清武団地 計	1.7	0.1	0.3	1.2	0.5	0.4	0.5	0.3	0.9	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.3	0.7	3.0							

計 10.7 億円

R5末状況より年次計画化
R5末状況より見通し額

入構整理料にて順次補修
入構整理料にて順次補修不適格改修。業者概算見積
講義実習

施設改修 ロードマップ（教育研究施設）

対象：87棟
※附属病院・動物病院・宿舎・借用建物および200m²以下の小規模建物は除く

凡例:  : 20・60年目 大・中規模改修  : 40年目 長寿命化・機能維持改修  : 基幹設備・照明改修
 [外]: 外部改修 [全]: 全面改修 [内]: 内部改修
 金額: 補助金事業 金額: 自資金事業 [億円]: [億円]
 (単価)長寿命化改修(実験系) 23.0万/m²
 長寿命化改修(非実験系) 21.4万/m²
 大規模改修 5.0万/m²

更新：令和6年3月（R5年末）
（単価の考え方）
長寿化改修（実験系）23.0万/m ²
長寿化改修（非実験系）21.4万/m ²
大規模改修 50.0万/m ²
機能維持改修 8.0万/m ²
中規模改修 1.0万/m ²
（金額根拠）

空腸設備改修 R5計画額

大規模改造 5.0万/m³

I だが中規模改修 1.0万円/m²

宏觀設備改修、DC計面額

大规模改造 5.0 版 / 3

主場改造 E2T/3

「我が国提携改修」1.0万円

1000

長崎市役所改修(新美術水)

10 of 10

附小、附中(10kW-10kW)、幼稚園舍(8kW)

入構整理料により順次補修

入構整理料により順次補修

11/13

施設改修 ロードマップ (教育研究施設)

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年(建設年) (着工予定期点) [(x)終年(工事年) (2023時点)]	凡例 :  : 20・60年目大・中規模改修  : 40年目 長寿命化・機能維持改修  : 基幹設備・照明改修  : 外部改修  : 全面改修  : 内部改修  : 補助金事業  : 自己資金事業	第5次5ヶ年計画							第6次5ヶ年計画							第7次5ヶ年計画												
							2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10
住吉	産業動物拠点整備	乳牛舎2 乳加工棟	Ⅲ Ⅲ	2,240 m ² 424 m ²	3(2021) 3(2021)		 5.3																										
		乳及び肉加工室	Ⅲ	277 m ²	54(1966) ※建物解体		 0.3																										
		実験研究棟	I	704 m ²	44(1979) [全]0(2023)				 1.3																								
		短期宿泊施設	I	390 m ²	42(1981) [全]0(2023)				 0.6																								
		牛乳舎	Ⅲ	464 m ²	57(1968) ※建物解体																												
		肥育牛舎	Ⅲ	597 m ²	26(2005)																												
		試験畜舎	Ⅲ	362 m ²	52(1979)																												
		乾草給与場	Ⅲ	205 m ²	62(1969)																												
		堆肥舎	Ⅲ	395 m ²	51(1980)																												
		子牛舎及び衛生室	Ⅲ	1,367 m ²	52(1979)																												
		繁殖牛舎	Ⅲ	496 m ²	53(1978)																												
		車輌庫	Ⅲ	206 m ²	61(1970)																												
		第2車両庫・火力乾燥室	Ⅲ	677 m ²	52(1979)																												
		豚舎	Ⅲ	339 m ²	16(2015)																												
	ライフライン	給水設備			6(2017)																												
田野	田野フィールド	演習林管理棟	I	758 m ²	48(1972) [全]3(2020)		 1.1																										
	ライフライン	給排水設備 電気設備			3(2020) 3(2020)		 0.1																										
赤水	延岡フィールド	附属水産実験所施設棟	II	914 m ²	58(1973) [全]10(2013)																												
	ライフライン	給水設備のみ(海水は除く) 海水設備			53(1972) 53(1972)																												
木原2	実習田	水田作業舎	Ⅲ	250 m ²	44(1987)																												
	ライフライン	排水設備																															

小規模建物 (対象: 66棟)・維持管理費

凡例 :  : 20・40・60年目事後保全改修、維持管理

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年(建設年) (着工予定期点)	凡例 : <img alt="Hatched box" data-bbox="375
----	------	-----	-------	------	---------------------	--

施設改修 ロードマップ (病院・動物病院)

凡例: : 20~60年目 大・中規模改修 : 40年目 長寿命化・機能維持改修 : 病院設備改修
 [外] : 外部改修 [全] : 全面改修 [内] : 内部改修
 金額 : 補助金事業 金額 : 自己資金事業
 (医病については補助10%、借入90%)

更新: 令和5年3月

(単価の考え方)
 長寿命化改修(病院) 34.0万/m²
 長寿命化改修(動物病院) 19.0万/m²
 大規模改修(病院) 13.0万/m²
 大規模改修(動物病院) 7.0万円/m²
 機能維持改修 8.0万/m²
 機能維持改修(職員宿舎) 5.0万/m²
 中規模改修 1.0万/m²

病院 (対象: 16棟)

団地	学部等名	棟名称	施設重要度	改修面積	経年(建設年) (工事/竣工予定時点) (「×」経年 (工事年) (2023時点))	第5次5ヶ年計画							第6次5ヶ年計画							第7次5ヶ年計画							[億円]
						2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17					
病院	附属病院	病院	45,602 m ²	36(1977) [全]10(2013) 48(1976)																							
	中央機械室	病院	1,860 m ²	00(1989)																							
	MRI-CT装置棟	病院	468 m ²	00(1996)																							
	MRI-CT装置棟	病院	162 m ²	00(1996)																							
	中央診療棟	病院	5,712 m ²	00(2007)																							
	外来診療棟	病院	8,650 m ²	00(2010)																							
	救命救急センター・HP棟	病院	1,704 m ²	00(2013)																							
	看護師宿舎	病院	2,428 m ²	56(1977) [全]40(1993)																							
	看護師宿舎	病院	1,505 m ²	57(1977) [外]27(2007)																							
	看護師宿舎	病院	1,632 m ² (5,565 m ²)	56(1979) [外]28(2007)																							
清武 (医病)	倉庫	病院	276 m ²	42(1980) ※建物解体																							
	立体駐車場	病院	6,845 m ²	00(2007)																							
	格納庫	病院	270 m ²	00(2011)																							
	カルテ倉庫	病院	280 m ² (7,671 m ²)	00(2014)																							
	中央監視装置			4(2020)																							
	非常用(常用)発電機			17(2007)																							
	特高電気室			16(2008)																							
	無停電電源装置																										
	直流電源装置																										
	電話交換機			2(2022)																							
病院設備	放送設備			3(2021)																							
	火災受信機			17(2007)																							
	ナースコール			13(2011)																							
	外灯			11(2013)																							
	感染排水処理施設			11(2013)																							
	R I 貯留槽施設			11(2013)																							
	中央集塵装置			11(2013)																							
	医療ガス設備			4(2020)																							
	ボイラー			4(2020)																							
	受水槽・揚水設備			1(2022)																							
維持管理費	実験排水処理施設			7(2017)																							
	昇降機設備																										
	LED化																										
	自動制御設備																										
	小規模建物 (200m ² 以下) ※事後保全	カルテ庫 待機室 油脂庫 廃棄物保管庫		153 m ² 58 m ² 24 m ² 141 m ² (376 m ²)																							
	維持管理費	病院		77,770 m ²																							

	補助金	建物改修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病院設備改修	0.0	0.2	0.0	0.2	0.5	0.0	0.0	0.1	0.5	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.5	0.4	0.2	0.2	0.0	
自己資金	補助金 計	0.0	0.2	0.0	0.2	0.5	0.0	0.0	0.1	0.5	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.5	0.4	0.2	0.2	0.0

<tbl_r cells="26" ix="5" maxcspan="1" maxr

施設改修 ロードマップ (学生寄宿舎・職員宿舎)

凡例 : : 40年目 機能維持改修
 [外] : 外部改修 [全] : 全面改修 [内] : 内部改修
 金額 : 補助金事業 金額 : 自己資金事業

(単価の考え方)
 機能維持改修(寄宿舎) 5.0万/m²
 機能維持改修(職員宿舎) 5.0万/m²
 中規模改修 1.0万/m²
 建物解体 2.0万/m²

学生寄宿舎・職員宿舎 (対象: 19棟)

[億円]

国地	学部等名	棟名称	施設 重要 度	改修面積	経年(建設年) (着工予定時点)	第5次5ヶ年計画							第6次5ヶ年計画							第7次5ヶ年計画						
						2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17				
木花	学生寄宿舎	男子寄宿舎	宿舎	1,887 m ²	(1,988)																					
		女子寄宿舎	宿舎	1,804 m ²	(1,990)																					
		国際交流会館単身者棟	宿舎	4,227 m ²	(1,992)																					
		国際交流会館夫婦・家族棟	宿舎	460 m ²	(1,994)																					
		留学生宿舎	宿舎	(279 m ²) (8,657 m ²)	(2,015)																					
清武 1	宿泊施設	非常勤講師宿泊施設	宿舎	237 m ²	(1,980)																					
		非常勤講師宿泊施設	宿舎	183 m ² (420 m ²)	(1,980)	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03		
清武 2	職員宿舎	職員宿舎 (D棟)	宿舎	1,900 m ²	52(1975) ※建物解体																					
		職員宿舎 (E棟)	宿舎	1,492 m ²	52(1976) ※建物解体																					
		職員宿舎 (F棟)	宿舎	622 m ²	52(1976) ※建物解体																					
		職員宿舎 (1棟)	宿舎	1,037 m ²	51(1977) ※建物解体																					
		職員宿舎 (2棟)	宿舎	2,030 m ²	51(1977) ※建物解体																					
		職員宿舎 (3棟)	宿舎	1,354 m ²	46(1977) [外]8(2015)																					
		職員宿舎 (4棟)	宿舎	1,354 m ²	51(1977) ※建物解体																					
		職員宿舎 (5棟)	宿舎	1,555 m ² (11,344 m ²)	46(1978) [全]9(2014)																					
		保育施設		225 m ²	15(2007)																					
	ライフライン	排水設備 給水設備 ガス設備																								
清武 3	職員宿舎	職員宿舎 (A棟)	宿舎	1,900 m ²	53(1974) ※建物解体																					
		職員宿舎 (B棟)	宿舎	1,492 m ²	53(1974) ※建物解体																					
		職員宿舎 (C棟)	宿舎	1,492 m ² (4,884 m ²)	53(1975) ※建物解体																					
	維持管理費	職員宿舎		16,228 m ²																						
			自己資金			建物解体	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
						維持管理費	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
						自己資金 計	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	0.2	0.2	0.2	6.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
						宿舎 計	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	0.2	0.2	0.2	6.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		

(金額根拠)

入退去時の修繕・維持管理実績値

R5 解体見積額

R5 解体見積額

R5 解体見積額

R5 解体見積額

入退去時の修繕・維持管理(維持管理費に含む)

R5 解体見積額

入退去時の修繕・維持管理(維持管理費に含む)

中規模改修 1.0万/m²

R5 3・5棟下水切替

R9 処理槽設備撤去

R5 3.5棟直圧高架方式改修

R9 5棟高置水槽入替

R5 埋設ガス撤去 GBH方式改修

D棟 解体見積額準拠

E棟 解体見積額準拠

E棟 解体見積額準拠

実績値

計 9.9 億円